

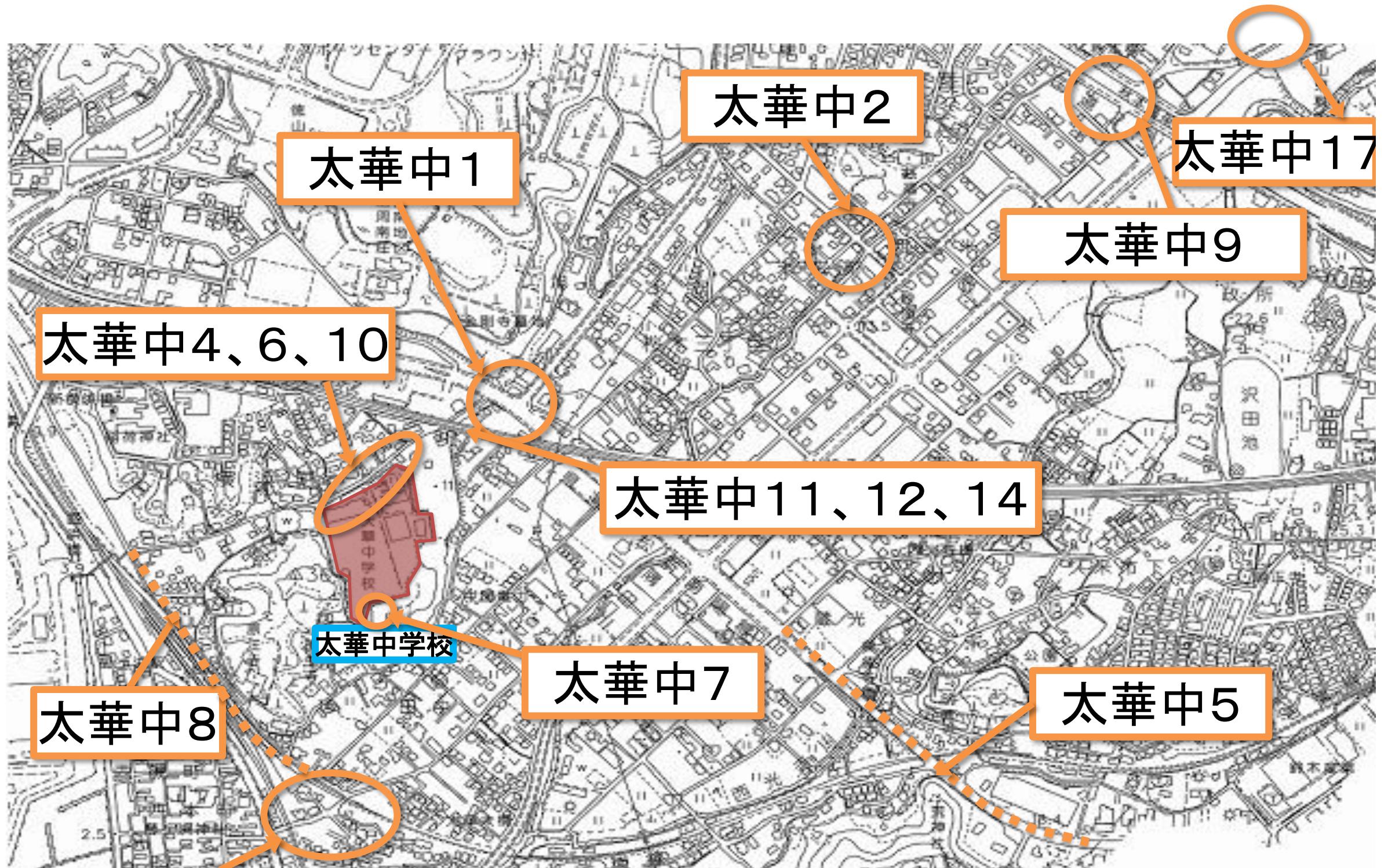
周南市通学路対策一覧表(令和6年6月)

NO.	場所(地名)	道路種別 道路名	危険箇所の状況及び要望理由	内容	危険度	対策方法	学校からのおおよその距離	通行する児童生徒数(約)	危険箇所写真	対策内容	対策主体	要望年度	対策年度	対策状況	対策後写真
太華中1	桜木交差点	県道下松新南陽線	横断歩道を通過する生徒が多く車両が曲がれない。	交通安全	B	無し(生徒への注意喚起)	400m	150		見守り活動の重点化、注意喚起	学校	H28	H28	学校による注意喚起対応	
太華中2	西久米1交差点	久米中央地区土地区画整理地内道路(隅田川沿い)	北から下る自転車通学生と東から西へ抜ける車両とが接触する危険がある。	交通安全	A	路面へ止まれるの表示、標識設置	1200m	20		見守り活動の重点化、注意喚起 区画線の改善	学校 道路管理者(市)	H28	H30	対策済	
太華中3	櫛ヶ浜踏切	市道田中3号線 市道院内線	幅の狭い踏切手前に道路の合流点があり、下校途中の生徒と通過する車で複雑な交通状況がある。	交通安全	B	無し(生徒への注意喚起)	710m	60		見守り活動の重点化、注意喚起	学校	H28	H28	学校による注意喚起対応	
太華中4	太華中前の道路	市道遠石横浜線	朝、車両の速度が速い。標識が見えにくい。 通学生徒の通行帯が目立たず、分かりにくい	交通安全	A	警察の厳命 道路標識の設置 路側帯の明示	50m	150		取締り強化 最高速度標識の改善 路側帯の明示(緑の区画線)	交通管理者 道路管理者(市)	H28	H28~	通行規制の時間帯を7:00~8:30に変更	
太華中5	下松市境~久米交差点の間	県道下松新南陽線(都市計画道路中央通線久米工区)	歩道が狭い区間やバス停などで車道との分離が不明瞭な箇所もあり、歩行者の安全性が低い。	交通安全	B	歩道の整備	1100m	30		歩道の拡幅整備実施中(街路事業)	道路管理者(県)	H28	H26~	坂の下は拡幅	
太華中6	太華中前の道路	市道遠石横浜線	車がすれ違えない道幅のため、登下校時に車、自転車、歩行者が同時に通ると、生徒が側溝に落ちる可能性があり危険である。	交通安全	A	側溝にグレーチングを設置	50m	250		見守り活動の重点化、注意喚起	道路管理者(市)	H30	H30	学校による注意喚起対応	
太華中7	太華中の裏門付近	太華中校内	朝方、夕方の登下校時になると、野犬5、6匹が近くまで駆け寄り、吠えたり、囲んで威嚇する。猪対策ネットを張り巡らせていたが、日々噛み切られて苦慮している。	防災	A	犬の捕獲 金属柵の設置	0m	150		柵の設置	教育委員会	H30	H30	柵の設置済	
太華中8	櫛ヶ浜駅沿いの道路	市道院内線 (櫛ヶ浜駅沿いの道路)	車一台がギリギリ通行できるほどの狭い道であり、下校時に車と出会うことも危険である。	交通安全	A	道路の拡張	400m	60		注意喚起の路面表示を設置	道路管理者(市)	H30	H30	対策済	
太華中9	久米小前の交差点	市道久米1号線 (久米小前の交差点)	白線やマンホールが多く、雨天時は自転車のスリップが多発している。また、交通量が多いわりに、横断歩道の信号がないため、危険。信号待ちをしている車があると、歩行者、車側から双方が見えにくい。過去、数件接触事故あり。	交通安全	A	マンホールへの滑り止め工作 信号の設置 ミラーの設置 など	3500m	60		見守り活動の重点化、注意喚起	学校	H30	H30	学校による注意喚起対応	
太華中10	太華中前の道路	市道遠石横浜線 (太華中前の道路)	学校前の通学路で、多くの生徒が通行するが、白線内を歩行することが困難であり、危険。	交通安全	A	グリーンベルトの新設。	100m	250		歩行帯の明示 (緑の区画線を設置)	道路管理者(市)	H30	H30	対策済	
太華中11	太華中前の道路、高架下の十字路	市道遠石横浜線 (太華中前の道路、高架下の十字路)	ガードレールが歩行者、車の運転者の視界を妨げており、見切りが悪く、危険。	交通安全	A	ガードレールの改善。または、撤去。	400m	60		見通しを確保し安全性を高めるため、カーブミラーを設置	道路管理者(市)	H30	H30	対策済	
太華中12	桜木交差点	県道下松新南陽線上り側	山本モータース前の車線がカーブしており、下り坂でスピードも出やすく、信号待ちの歩行者列に車が飛び込む可能性があり、危険。	交通安全	A	歩道と車道間にガードパイプ 又は、コンクリート壁(遠石ゆめタウン前のような)を設置	500m	150		ガードパイプの設置	道路管理者(市)	R1	R1	対策済	

周南市通学路対策一覧表(令和6年6月)

NO.	場所(地名)	道路種別 道路名	危険箇所の状況及び要望理由	内容	危険度	対策方法	学校からのおおよその距離	通行する児童生徒数(約)	危険箇所写真	対策内容	対策主体	要望年度	対策年度	対策状況	対策後写真
太華中13	くるくるロー	市道榑浜久米線	歩道と自転車道の区分がないため、自転車と歩行者が接触しそうになり、危険。	交通安全	A	自転車帯の設置	800m	100		自転車帯の設置	道路管理者(市)	R1	R2	対策済	
太華中14	桜木交差点	県道347号線下松新南陽線	事故多発地点。自動車同士の接触であってもその弾みで歩道に車が突入した場合、現状では生徒の安全を守ることはできない。	交通安全	A	ガードレール、ガードパイプの設置	350m	200		車止めの設置	道路管理者(県)	R2	R2	対策済	
太華中15	榑ヶ浜踏切前	市道田中3号線 市道院内線	見通しが悪く細い道から生徒が合流することとなるため、自動車との接触が危ぶまれる箇所である。	交通安全	A	交差点へのミラーの設置及び、道路への「減速」「通学路」表記	700m	100		見守り活動の重点化、注意喚起	学校	R2	R2	学校による注意喚起対応	
太華中16	榑ヶ浜踏切先	市道田中3号線 市道院内線	交通量が多く、生徒との接触の危険がある。白線や停止線が薄く、見えづらくなっている。	交通安全	A	白線の塗り直し、グリーンパルトの設置	800m	100		見守り活動の重点化、注意喚起	学校	R2	R2	学校による注意喚起対応	
太華中17	久米 徳山東 インター料金所付近	市道久米1号線	道幅が狭く、自転車通学をする生徒と自動車との接触の危険がある。	交通安全	A	歩道の拡張	2000m	50		溝蓋設置	道路管理者(市)	R3	R4~	対策済	
太華中18	榑ヶ浜栗屋付 近	市道栗屋1号線・2号線	道幅が狭く、側溝にガードレールもないため、転落する危険がある。	交通安全	A	ガードレール等設置	2000m	20		ポストコーン設置	道路管理者(市)	R3	R3	対策済	

通学路対策箇所図(令和6年6月)



通学路対策箇所図(令和6年6月)

